

2021年9月

第132号

ぱれっと



㈱北日本ベストサポート
TEL 018-883-1888

東京オリンピック閉幕・パラリンピック開幕

東京オリンピックは開催日を1年延長した後、様々な議論が沸騰する中、紆余曲折があったものの難産の末無観客での開催に踏み切ったが、多くの感動とドラマを残し無事終了した。国民の多くから概ね好意的に受け止められる大会運営ができたことに対して拍手を送りたい。

今回の国別のメダル獲得数は米国113個、中国88個、日本58個の順となっており、金メダル獲得数も米国39個、中国38個、日本27個の順と、日本はこれまでのオリンピックと比較してもメダル獲得数も金メダル獲得数も過去最高となっている。

今回の大会で特に深く印象に残っているのは卓球混合ダブルス水谷選手と伊藤選手ペアの戦いだ。準々決勝の相手はドイツの選手であったがお互いに3セットずつを獲得し最終の7セット目、2対9と圧倒的に相手有利のスコアから追い上げ10対10のジュースまで驚異の粘りを見せ最後は16対14で奇跡的勝利となり、決勝でも中国選手と対戦しセットカウント4対3で勝利を収め卓球王国の牙城の一角を初めて崩すという大きな大きな金メダルに輝いた。

団体競技では女子ソフトボールでの上野投手の活躍が光輝き、男子野球やフェンシングエペなどはチーム全員の団結力で金メダルを獲得できたように映り大きな感動を与えてくれた。

個人種目では男子体操の橋本選手(19才)が個人総合・鉄棒の2種目で金メダル、競泳の女子大橋選手が200mと400mの個人メドレーで金メダルに輝き、また、柔道では阿部兄妹、女子レスリングでは川井姉妹がそれぞれ金メダルに輝くなど家族揃っての活躍も目を惹いた。

また、金メダルには届かなかったまでも女子バスケットで身長162cmの町田選手の活躍が目立った、準決勝のオーストラリア戦では18アシストを記録している。また競泳の池江選手もよく頑張ったと思う。

期待されながら残念な結果に終わったのは、体操の内村選手、女子テニスの大坂選手、バドミントンの男子桃田選手、女子シングルス・ダブルスの選手、陸上の男子400mリレーの選手たちだ。オリンピックには魔物が潜んでいるともいわれている。魔物の邪魔が入ったのかもしれない、それでもそれぞれが精一杯能力の限界に挑んだプレーに大きな感動と勇気を与えて頂き感謝したい。

平和の祭典の影で相変わらずコロナが世界中で猛威を振るい、アフガニスタンではタリバンが政権を奪取し地球を不透明感が覆っている。

今日(24日)からパラリンピックが始まる。パラリンピックの理念は「失われたものを数えるな、残された能力を最大限に生かせ」とする「可能性の祭典」といわれる。可能性に挑戦する姿に大きな声援を送りたい。

自分の評判など気にするな

ニーチェの言葉

誰だって、他人から自分がどう思われているか知りたいものだ。よく思われていたいし、少しは立派だと思われていたいものだし、大切な人間の部類に入れてほしいものだ。だからといって、自分への評価を気にするばかりに、聞き耳を立てるのはよくない。

なぜなら、人間というのは間違った評価をされるのが普通のことだからだ。自分が思うように、自分が望むように評価してくれることなんかほとんどない。そういうのは全然ちがう評価をされているのがまったくふつうだからだ。

だから、腹を立てないためには、自分の評判や評価など気にしてはいけない。他人がどう思っているかなんてことに関心を向けては絶対いけない。

そうでないと、本当は嫌われているのに、部長だの社長だの先生だのと呼ばれることに一種の快感や安心を覚えるような人間になってしまう。

【人間的な、あまりに人間的な】



心は態度に現れている

ニーチェの言葉

ことさらに極端な行為、おおげさな態度をする人に虚栄心がある。自分を大きく見せること、自分に力がある事、自分が何か特別な存在であることを人に印象づけたいのだ。実際には内に何も無いのだが。

細かい事柄にとらわれる人は気遣いがあるとか、何事にも繊細だというふうに見えることもあるが、内実は恐怖心を抱いている。

なにか失敗するのではないかという恐れがある。

あるいは、どんな事柄にも自分以外の人に関わるとうまいかないと思っていて、内心で人を見下している場合もある。

【人間的な、あまりに人間的な】

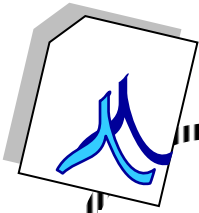
都合のいい解釈

ニーチェの言葉

「隣人を愛せよ」このような言葉を聞いてもおおかたの人は、自分の隣人ではなく、隣人の隣に住む人、あるいはもっと遠くに住む人を愛そうとする。

なぜなら、自分の隣人はうざったいからであり、愛したくないからである。にも関わらず、遠くの人を愛することで、自分は隣人愛を実践していると思込む。人は何事も自分の都合の良いうように解釈する。このことを知っていれば、いくら正論を並べても、それが実現化されることがすくないのが理解できるだろう。

【善悪の彼岸】



渡辺 崋山 (江戸後期の武士・画家)

寛政5年9月16日(1793年)	江戸詰めの田原藩士である父・渡辺定通と母・栄の長男として江戸麴町田原藩邸で生まれたが、極貧の中で育った。
享和元年(1801年) 8才	藩主康友の嫡男の伽役となる。
文化4年(1809年)16才	藩の江戸屋敷に出仕。納戸役・使番など藩主のごく近くの役目について。 崋山は後に谷文晁に入門し絵の才能が開花し画家として著名となる。
文政8年(1825年)32才	父の死亡で家督相続。同9年取次役となる。
文政9年(1826年)	藩主康明病死。康明の異母弟友信の藩主擁立運動を行ったが養子の康直が藩主となる。
天保3年(1832年)39才	田原藩の年寄役末席(家老職)となる。
天保7年(1836年)	天保の大飢饉の際は食料備蓄などにより貧しい藩内で餓死者を出さず幕府から唯一表彰を受けた。
天保9年(1838年)	モリソン号事件(外国船を砲撃した)発生。それに伴って批判的な文章を書いたとして高野長英等とともに断罪され蟄居の身となる。
天保12年10月11日	生活が困窮し、門人たちが書絵画会を開き生活費に当てたことを問題視され切腹した。享年38歳。
1891年(明治24年)	正4位の位階が贈られ、1946年崋山神社創建された。

オススメの BOOK



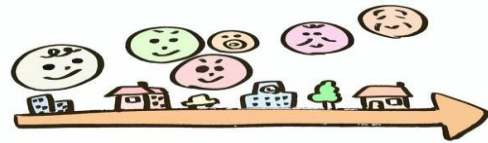
「お探し物は図書室まで」

著者 青山 美智子 出版社 ポプラ社

著者はシドニーで日経新聞社の記者を経て、出版社勤務。後、執筆活動。デビュー作「木曜日はココアを」で第1回宮崎本大賞。2作目「猫のお告げは樹の下で」で未来屋小説大賞入賞。

本書は20代女性、30代男性2人、40代女性、65歳定年の男性たちのそれぞれの悩みなどを図書室を起点としてヒントを得て解決に向かっていく物語。本屋大賞にノミネートされている。

第三分野の医療保険、見直しのタイミングは？



ライフイベントといわれる結婚、出産、マイホームの購入、子どもの独立や結婚、定年退職など人生の節目にはお金の流れが変わります。保険の見直しもそのタイミングで行うのがオススメです。

今後、保障にいくら必要か、どんな保障が大切かという優先順位も変わってくるからです。

見直す際の大事なポイントは、健康状態です。持病がない健康なうちに見直すことで保険料も安くできます。

また、見直す際は、社会保障でカバーできる範囲を知っておくことも大事です。

病気やケガで医療機関にかかる時、高額療養費(1カ月に支払う医療費が自己負担額を超えた場合に払い戻される制度)でどのくらい負担してもらえるかです。収入によって自己負担額は変わりますが、どのくらいカバーされるのか確認してから保険の見直しに進みます。社会保障でカバーできる部分に分かると、無茶な見直しにならずに済みます。

そして、保険診療以外に病院で必要になるお金や自由診療、先進医療といった自分で

100%用意する必要があるお金についても医療保険の特約で対応になるものがありますので検討してみましょう。

次のがん保険ですが、治療の進歩と共に新しくなっています。

昔の保険はがんと診断されたら一度だけ保険金が支払われるタイプが主流でしたが、今のがん保険は一定期間が経つと二度、三度と複数回支払われるタイプが殆どです。それに、昔のタイプは65歳になると保障の一部が半額になるものもあり、不安を感じている方が少なくありません。

近年は持病があっても入りやすい引受基準緩和型保険といわれる告知の項目を少なくすることで入りやすいタイプの保険も増えてきています(保険料は高めです)

自分の医療保障が何歳まで続くのか、80歳で保障が終わってしまう場合や10年毎に保険料が上がる医療保険もあります。

使えると思っていた医療保険やがん保険が時代に合わなくなっていることもありますので、人生の節目には保険の見直しを試みてはどうでしょうか。

【編集後記】

アフガニスタンではタリバンの支配となって国内では大混乱に陥っている様子が報道されている。

ミャンマーで軍事クーデターが起き、香港では民主活動家たちの逮捕や、自由にモノが言えない状況となっているようだ。

コロナが世界中で猛威を振り、先行きの見通しが立たない。

世界が力を合わせてコロナと戦い、人権差別や阻害されるような動きには力を合わせて弱い立場の人を救出できないものかと胸が痛くなる。

「世界平和」や「可能性への挑戦」を絶えず希求し続けたいものである。